

# JISQ15001 解説補助

「4 組織の状況」で気になったこと  
(有) 中野ソフトウェアサービス

2020/03/10

## 4 組織の状況

- ▶ マネジメントシステムは組織に普通に内在している機構である。組織活動の表現の違いであるにしても、何かしらを反映している。
- ▶ 組織活動が、会社の利益を安定させるために行われていることを考えると、その未来を左右する事柄というのは自覚することが求められる。
- ▶ 個人情報保護について、事前に配慮すべきことは何かと言う視点で見えてほしい。

## 4.1 組織及びその状況の理解



- ▶ 組織は、組織の目的に関連し、かつ、その個人情報保護マネジメントシステムの意図した成果を達成する組織の能力に影響を与える、外部及び内部の課題を決定しなければならない。
- ▶ ここで問いかけているのは次の二つである。
- ▶ 1. 組織の目的とは何か、意図した成果とは何か、そのために必要な組織能力とは何か。
- ▶ 2. 外部及び内部の課題を決定する手順は何か
- ▶ 一般的に、「組織の内部及び外部の課題」を明確にする方法論としてはSWOT分析が有名だが、これだけがすべてではない。また、漫然とSWOT分析をしても組織固有の課題は出てこない。
- ▶ 1で示した事柄の議論が抜け落ちていることは適切ではない。
- ▶ 審査においては、「何を外部及び内部の課題としたか」は重要ではない、「どのようなプロセスで内部及び外部の課題を出したのか」が重要である。
- ▶ 移行も同様だが、「Why」が重要になるので注意が必要だ。

## 4.2 利害関係者のニーズ及び期待の理解

- ▶ 組織は、次の事項を決定しなければならない。
  - ▶ a) 個人情報保護マネジメントシステムに関連する利害関係者
  - ▶ b) その利害関係者の、個人情報保護に関連する要求事項
  - ▶ 注記 利害関係者の要求事項には、法的及び規制の要求事項並びに契約上の義務を含めてもよい。
- ▶ 規格がこの通りだとしたら、この項番は何も言っていないことに等しい。単に利害関係者と法令などを明らかにしろと云うだけである。
- ▶ 参考までにISO9001：2015の該当箇所の規格を示す。
  - ▶ 4.2 利害関係者のニーズ及び期待の理解
  - ▶ 次の事項は顧客要求事項及び適用される法令・規制要求事項を満たした製品及びサービスを一貫して提供する組織の能力に与える影響又は潜在的影響のため、組織は、これらを明確にしなければならない。
    - ▶ a)品質マネジメントシステムに密接に関連する利害関係者
    - ▶ b)品質マネジメントシステムに密接に関連するそれらの利害関係者の要求事項
  - ▶ 組織は、これらの利害関係者及びその関連する要求事項に関する情報を監視し、レビューしなければならない。

## 4.3 個人情報保護マネジメントシステムの適用範囲の決定

- ▶ 組織は、個人情報保護マネジメントシステムの適用範囲を定めるために、その境界及び適用可能性を決定しなければならない。
- ▶ この適用範囲を決定するとき、組織は、次の事項を考慮しなければならない。
  - ▶ a) 4.1 に規定する外部及び内部の課題
  - ▶ b) 4.2 に規定する要求事項
  - ▶ c) 組織が実施する活動と他の組織が実施する活動との間のインタフェース及び依存関係
- ▶ 個人情報保護マネジメントシステムの適用範囲は、文書化した情報として利用可能な状態にしておかなければならない。
- ▶ ここで求めているのは「適用範囲は文書化すること」だけである。適用範囲を決定した根拠を示せとは書いてはいない。
- ▶ とはいえ、どう考えたかは用意しておく必要がある。
- ▶ その際、「境界」も「適用可能性」も用語の定義にはない。ISOであれば原文が英語なので英英辞典を参照できるが、ここでは日本語なので一般的な意味合いでしか捉えられないのそれで良い。

- 
- ▶ 「次の事項を考慮してください」の「考慮」は、おそらくは英語のconsiderに対応する言葉だろう。考えるとか配慮するというニュアンスになる。「考えました」といわれてダメですということはない。
  - ▶ 「c) 組織が実施する活動と他の組織が実施する活動との間のインタフェース及び依存関係」というのはわかりにくいですが、個人情報を取り扱うために取引先と交わっている契約関係という程度で良いかと思う。
- 

## 4.4 個人情報保護マネジメントシステム

- ▶ **組織は、この規格の要求事項に従って、個人情報保護マネジメントシステムを確立し、実施し、維持し、かつ、継続的に改善しなければならない。**
- ▶ 「確立し、実施し、維持し、かつ、継続的に改善しなければならない。」という用語がこれからも出てくるの簡単に説明。
- ▶ 「確立」とは手順を作成すること
- ▶ 「実施」とは手順に従って作業をさせること
- ▶ 「維持」は正常に実施させている状態を保つこと。教育なども含む。また監視なども含む。
- ▶ 「改善」とは、上記の確立・実施・維持をモニタリングし脆弱なところがあればこれを塞ぎ、または強固にして行くこと。不具合があれば修正して行くことも含む。

**この動画の問い合わせは下記までどうぞ**

**中野 康範**

**[ysnakano@nss.watson.jp](mailto:ysnakano@nss.watson.jp)**